

## 通常モードと簡単モードの違い

項目		通常モード	簡単モード
外壁部 外皮面積計算	外壁部の部位	一般部、階間部、胴差(軒桁)部、土台部を区別して面積を計算します。それぞれの部位に対して断熱仕様を設定します。	一般部、階間部、胴差(軒桁)部、土台部を区別せずに、全て一般部として階ごとに面積を計算し、断熱仕様を設定します。計算式は、部屋部分の面積と天井裏(小屋裏)部分の面積を足し合わせる式になります。
	床、天井の高さ	床、天井の高さは、部屋の床高、天井高を用いて計算します。(1階床高を除く)	床、天井の高さは、基準高さをを用いて計算します。よって、天井は勾配天井と水平天井を区別せず、全て水平天井として計算します。 (母屋下がりによる勾配天井を除く) ※設定により、天井の高さは部屋の天井高を用いることも可能です。
	土間部分の外壁面積	床断熱の一部が土間となっている部分の基礎天端から床面までの壁面を面積に算入します。	床断熱の一部が土間となっている部分の基礎天端から床面までの壁面を面積に算入しません。 (簡略化した計算を採用)
	領域分割	外壁部の領域分割を行うことができます。	外壁部の領域分割を行うことができません。
屋根/天井の外皮面積計算		屋根面と部屋の両方で領域を分割して面積を計算します。	屋根断熱の場合は屋根単位、天井断熱、桁上断熱の場合は部屋単位で面積を計算します。 ※建物形状によって(中庭等)、屋根断熱の場合に屋根面と部屋の両方で領域を分割して面積計算する場合があります。
開口部の取得日射熱補正係数		取得日射熱補正係数の計算方法は、庇を考慮しない「定数」を初期設定とします。	取得日射熱補正係数の計算方法は、庇を考慮しない「定数」を初期設定とします。